

第 4 回 館山市議会定例会会議録
(第 4 号)

1 昭和62年12月19日(土曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 24名

1番 脇田 安保
3番 田沢 勝信
5番 岩村 勝弘
8番 鈴木 勝美
11番 神田 守隆
13番 山中金治郎
15番 横溝 功
18番 日下 君敏
20番 福原 勤
22番 黒川 平治
25番 渡辺 昭夫
27番 林 豊

2番 永井 龍平
4番 庄司二三男
6番 山崎 雅己
10番 鈴木 忠夫
12番 榎本 春光
14番 小宮 利夫
17番 石井 謀
19番 川名 正二
21番 辻田 実
23番 流山源次郎
26番 近藤 好雄
28番 飯田 義男

1 欠席議員 4名

7番 生稻 陞
16番 石井 昌治

9番 山口 康雄
24番 松下 正己

1 出席説明員

市長 半澤 良一
市長公室長 錦織 茂
民生部長 渡辺 弘
水道課長 石井 敏夫
教育委員会 福原 修
教育委員会 佐藤 輝雄
選挙管理委員会 橋本 巖利
監査事務局 長

収入役 山田 俊康
総務部長 飯野 芳郎
経済部長 安西 良一
教育委員会 山田 教和
選挙管理委員会 加藤 利
監査委員会 鈴木 重司
農業委員会 池田 六郎
農事務局長

1 出席事務局職員

事務局長 庄司 利光
書記 鈴木 哲
書記 加藤 浩一

事務局長補佐 兵藤 恭一
書記 土橋 康彦

1 議事日程(第4号)

昭和 6 2 年 1 2 月 1 9 日 午前 1 0 時 開 議

- 日程第 1 { 議案第 3 5 号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例
の制定について
議案第 3 6 号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制
定について
議案第 3 7 号 字の区域及び名称の変更について
議案第 3 8 号 工事請負契約の締結について
議案第 3 9 号 昭和 6 2 年度館山市一般会計補正予算 (第
3 号)
- 日程第 2 { 議案第 4 0 号 昭和 6 2 年度館山市ユースホステル特別会
計補正予算 (第 1 号)
議案第 4 1 号 昭和 6 2 年度館山市水道事業特別会計補正
予算 (第 1 号)
議案第 4 2 号 昭和 6 2 年度館山市国民宿舎事業特別会計
補正予算 (第 1 号)
- 日程第 3 請願第 7 号 公立学校事務職員・栄養職員の給与の国庫
負担削減に反対する請願書
- 日程第 4 議案第 4 3 号 館山市教育委員会委員の任命について
- 日程第 5 { 発議案第 8 号 地域開発調査特別委員会の設置について
発議案第 9 号 下水道調査特別委員会の設置について
発議案第 10 号 館山駅周辺整備調査特別委員会の設置につ
いて

開 議 午前 1 0 時 2 8 分

○議長 (飯田義男君) 本日の出席議員数 2 4 名、これより第 4 回市議
会定例会第 4 日目の会議を開きます。

議案の配付

○議長 (飯田義男君) 議案を配付いたさせます。

議案の配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

○議長（飯田義男君） 日程第1、議案第35号乃至議案第39号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

○議長（飯田義男君） ただいま議題となりました各議案は、ともに12月15日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長渡辺昭夫君。御登壇願います。

（総務委員会委員長渡辺昭夫君登壇）

○総務委員会委員長（渡辺昭夫君） ただいま議題となりました議案第35号乃至議案第39号に係る総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12月15日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、12月16日委員会を招集し慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等につきまして主なる事項を申し上げます。

まず、議案第35号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてであります。本市のラスパイレス指数が62年度109.1であることについて、将来どのように対処する考えであるのかただしましたところ、ラスパイレス指数についてはピーク時の115.9から109.1に下がっており、県内各市の比較から見てほぼ平均にあること、また本市は国に先駆け行政改革に着手し、組織機構の簡素合理化等により職員の削減を行い、歳出に占める人件費の割合もピーク時の37.2%から61年度決算で29%と下がっているとの説明があり、さらに今後においても定員の抑制、人件費の削減、給与の適正化に努力していくとの考えが示されました。

なお、景気が低迷している中で、市内の事業所の実態をよく見定めるとともに、本市の財政状況も厳しいことから、今後も給与については十

分検討すべきであるとする意見がありました。

次に、議案第39号昭和62年度館山市一般会計補正予算（第3号）であります。総務費中自動車購入費として180万円の補正がされており、それぞれ8年、10年を経過したライトバン2台を買いかえるものであるとの説明がありましたが、さらに市で保有する車の整備についても特に配慮されるよう要望いたしました。

次に、コミュニティ事業補助金400万円の補正については、本会議においても質疑がなされ、その交付要綱等示されましたが、さらに人口の急増地区等においてコミュニティ活動のため集会施設が必要と考えられるが、事業費の捻出が難しい中で今後交付要綱等の見直しができないかいただきましたところ、400万円の補助により800万円の規模の事業が行えることができ、現在の段階では間に合っていると考えるが、今後状況が変化して大きな施設が必要になった場合は、その時点で考えたいとの説明がありました。

次に、民生費中特別障害者手当485万円の減額補正について説明を求めましたところ、61年度から行われている制度で、当初100名を見込んだが、在宅ということが原則の中で、施設入所6名、3ヵ月以上の入院3名、死亡16名と対象者が減少したことによるものであるとの説明がありました。

次に、商工費中国民宿舍事業特別会計貸付金1億円が計上されておりますが、これが貸付の内容及び国民宿舍事業における起債の未償還額について説明を求めましたところ、貸し付けにあたっては年利4%、25年返済、3年間据え置きとなっており、起債の未償還額については3億2108万円であるとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第35号乃至議案第39号の各議案については、全員一致をもっていずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、総務委員会委員長報告を終わります。

○議長（飯田義男君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

○議長（飯田義男君） これより討論を行います。

通告がありますので、発言を許します。

11番議員神田守隆君。御登壇願います。

（11番議員神田守隆君登壇）

○11番（神田守隆君） 議案第35号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について賛成の討論を行います。

市職員の給与を人事院勧告に基づき国及び県に準じて平均1.40%引き上げようとするものでありますが、このこと自体については当然のことであり賛成であります。

しかし、同時に、市の給料表は県の給料表に比べると、部長、課長を除いて6級以下市職員については号級が進むと県の給料表より低くなっております。これを早急に県並みに改善するよう主張いたします。

次に、議案第36号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について反対の討論を行います。

この条例改正は、マル優廃止による増税と引きかえに実施される住民税減税であります。そもそもマル優廃止はすべての利子所得に対し20%課税をしようとするものでありますが、そのこと自体、これまで35%の源泉分離課税を利用していた多くの大資産家に対しては大幅な減税、一方、零細な一般庶民にはマル優廃止で一律に20%の新たな課税がされるなど、大資産家にとっては大減税であっても庶民にとっては大增税でありました。

このマル優の増税と引きかえにこの住民税の減税を実施しようとするものでありますが、しかしながら、その内容を見ますと、その減税自体も最低税率を引き上げ、最高税率を引き下げるなどのため、高額所得者には減税はたっぷりととってありますが、その一方で庶民に対する減税はわずかなものであります。マル優廃止に伴う増税を考慮すれば減税といえるほどのものではありません。上には厚く下には薄い減税と言わねばなりません。特に、課税の累進制が緩和された問題は税制度の根幹にかかわる重大な制度改悪を含んでおり断じて認められません。

庶民の減税を中心に減税を実施するべきことを主張し、特にこの税の累進制緩和に反対し、反対討論といたします。

◎議長（飯田義男君） 以上で11番議員神田守隆君の討論を終わります。

通告者による討論を終わりますが、通告をしない議員で討論はありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（飯田義男君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第35号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

次いで、議案第36号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について起立により採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（飯田義男君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

次いで、議案第37号乃至議案第39号について一括して採決いたします。

議案第37号乃至議案第39号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、議案第37号乃至議案第39号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（飯田義男君） 日程第2、議案第40号乃至議案第42号の各議案を一括して議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長（飯田義男君） ただいま議題となりました各議案は、ともに12月15日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長川名正二君。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長川名正二君登壇）

◎建設経済委員会委員長（川名正二君） ただいま議題となりました議案第40号乃至議案第42号に係る建設経済委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12月15日開会の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、12月17日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

議案第42号昭和62年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、今回一般会計からの借り入れにより企業債の繰上償還をするとの説明がされておりますが、その企業債の未償還額及び利率について説明を求めましたところ、政府資金2億9947万、年利7.15%、市町村振興資金2161万、年利5.0%であり、今回の1億円につきましては政府資金の繰上償還に充てるとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第40号乃至議案第42号の各議案につきましては、全員一致をもちましていずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、建設経済委員会委員長報告といたします。

○議長（飯田義男君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

○議長（飯田義男君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

○議長（飯田義男君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

議案第40号乃至議案第42号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、議案第40号乃至議案第42号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

日程の追加

○議長（飯田義男君） お諮りいたします。

総務委員会において審査中の請願第6号固定資産税の据置きを求める請願書について、請願人から撤回したい旨の申し出がありました。

この際、請願第6号撤回の件を日程に追加し、議題とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、この際、請願第6号撤回の件を日程に追加し、議題とすることに決しました。

請願書の撤回について

◎議長（飯田義男君） 請願第6号固定資産税の据置きを求める請願書撤回の件を議題といたします。

お諮りいたします。請願第6号撤回の件については、これを承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、請願第6号撤回の件については、これを承認することに決しました。

日程の追加

◎議長（飯田義男君） ただいま発議案第11号固定資産の評価替えに関する意見書についてが提出されました。

この際、本案を日程に追加し、議題とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、本案を日程に追加し、議題とすることに決しました。

議案の上程

◎議長（飯田義男君） 発議案第11号固定資産の評価替えに関する意見書についてを議題といたします。

議案を配付いたさせます。

（議案配付）

◎議長（飯田義男君） 議案の配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（飯田義男君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（飯田義男君） 提出者の説明を求めます。

（26番議員近藤好雄君登壇）

◎26番（近藤好雄君） 発議案第11号固定資産の評価替えに関する

意見書について提案理由の説明を申し上げます。

御承知のとおり、最近の地価高騰に伴い来年の評価替えによる固定資産税の引き上げが憂慮されております。

本市では、過日の本会議において大幅な引き上げはない見込みであると説明がありましたが、市民の間でも関心を持たれている問題でもありますので、この際、関係機関に要望いたしたく、お手元に配付のとおり8名の賛成者を得て本案を提出した次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（飯田義男君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（飯田義男君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（飯田義男君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

討 論

◎議長（飯田義男君） これより討論を行います。

討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（飯田義男君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(飯田義男君) 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

請願書の上程

○議長(飯田義男君) 日程第3、請願第7号公立学校事務職員・栄養職員の給与の国庫負担削減に反対する請願書を議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

○議長(飯田義男君) ただいま議題となりました請願第7号は、12月15日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより本請願に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長榎本春光君。御登壇願います。

(文教民生委員会委員長榎本春光君登壇)

○文教民生委員会委員長(榎本春光君) ただいま議題となりました請願第7号に係る文教民生委員会におきます審査の概要について御報告申し上げます。

去る12月15日の本会議におきまして本委員会に付託されました請願1件につき、12月16日委員会を招集し、審査を行いました。

請願第7号公立学校事務職員・栄養職員の給与の国庫負担削減に反対する請願書についてであります。まず、公立学校の事務職員、栄養職員の給与に対する現行負担制度の内容について説明を求めましたところ、市町村立学校職員給与法に基づき県が給与を負担しており、うち国の補助として2分の1が支出されている、給与については市は負担していないとの説明がありました。

さらに、国庫負担が削減された場合、原則として負担が県にかかることになるが、県の負担が大きくなれば一部を市町村に負担させることも考えられるし、事務職員や栄養職員を減らされるおそれもあるとの説明がありました。

なお、討論において、国庫負担の削減の結果として、地方に負担を転嫁することは容認できないとの賛成意見があり、採決の結果、本請願については全員一致をもって採択すべきものと決しました。

以上、審査の概要を御報告申し上げ、文教民生委員会委員長報告を終わります。

○議長（飯田義男君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

○議長（飯田義男君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

○議長（飯田義男君） これより採決いたします。

本請願書についての委員長の報告は採択であります。

本請願書を委員長の報告どおり採択と決しますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、本請願書は採択と決しました。

日程の追加

○議長（飯田義男君） ただいま発議案第12号公立学校事務職員・栄養職員の給与の国庫負担削減に反対する意見書についてが提出されました。

この際、本案を日程に追加し、議題とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、本案を日程に追加し、議題とすることに決しました。

議案の上程

◎議長（飯田義男君） 発議案第12号公立学校事務職員・栄養職員の給与の国庫負担削減に反対する意見書についてを議題といたします。

議案を配付いたさせます。

（議案配付）

◎議長（飯田義男君） 議案の配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（飯田義男君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（飯田義男君） 提出者の説明を求めます。

（12番議員榎本春光君登壇）

◎12番（榎本春光君） 発議案第12号公立学校事務職員・栄養職員の給与の国庫負担削減に反対する意見書について提案理由を御説明申し上げます。

本案につきましては、国庫負担削減に関するものでありまして、ただいま採択されました請願の趣旨を体しまして関係機関に要望いたしたく、7名の賛成者をもって提出いたしました次第であります。

満場の御賛同を賜りますようお願いをいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（飯田義男君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（飯田義男君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（飯田義男君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

討 論

◎議長（飯田義男君） これより討論を行います。

討論はありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（飯田義男君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議長の報告

◎議長（飯田義男君） なお、この際、申し上げます。

各常任委員会における陳情審査結果が報告されております。

お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の上程

◎議長（飯田義男君） 日程第4、議案第43号館山市教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（飯田義男君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（飯田義男君） 議案の説明を願います。

（市長半澤良一君登壇）

◎市長（半澤良一君） 議案第43号館山市教育委員会委員の任命について提案理由を御説明申し上げます。

館山市教育委員会委員中、高橋弘之さんが昭和62年12月25日をもって任期が満了いたしますので、引き続き高橋さんを適任と考え任命いたしたく存じます。

御賛同賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（飯田義男君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（飯田義男君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（飯田義男君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

討 論

◎議長（飯田義男君） これより討論を行います。

討論はありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（飯田義男君） これより採決いたします。

教育委員会委員の任命について同意を求める件は、これに同意することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(飯田義男君) 御異議なしと認めます。よって、教育委員会委員の任命について同意を求める件は、これに同意することに決しました。

議案の上程

○議長(飯田義男君) 日程第5、発議案第8号乃至発議案第10号の各議案を一括して議題といたします。

議案の朗読を願います。

(書記朗読)

○議長(飯田義男君) 朗読は終わりました。

議案の内容説明

○議長(飯田義男君) 提出者の説明を求めます。

(26番議員近藤好雄君登壇)

○26番(近藤好雄君) ただいま議題となりました発議案第8号乃至発議案第10号について一括して提案理由の御説明を申し上げます。

御承知のとおり、東京湾横断道路の建設、半島振興計画の実施、リゾート開発の推進等、本市を取り巻く諸情勢は大きく変わろうとしております。

市におきましても、このような変化に対応すべく新たな基本構想のもと、長期的な展望に立って施策の推進に努められているところでありますが、議会といたしましても当面する重要課題について議会の立場から調査検討する必要があると考え、お手元に配付の議案のとおり3特別委員会の設置を提案した次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

○議長(飯田義男君) 説明は終わりました。

質疑応答

○議長（飯田義男君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

○議長（飯田義男君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

討 論

○議長（飯田義男君） これより討論を行います。

討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

○議長（飯田義男君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

発議案第8号乃至発議案第10号の各議案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、発議案第8号乃至発議案第10号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

特別委員会委員の選任

○議長（飯田義男君） ただいま設置されました各特別委員会委員の選任については、委員会条例第5条第1項の規定により議長が会議に諮って指名することになっております。

これより各特別委員会委員の氏名を職員をして朗読いたさせます。

◎事務局長補佐（兵藤恭一君） 朗読いたします。

地域開発調査特別委員会委員

脇田安保さん、庄司二三男さん、鈴木勝美さん、神田守隆さん、榎本春光さん、小宮利夫さん、石井 謀さん、福原 勤さん、黒川平治さん。

下水道調査特別委員会委員

永井龍平さん、田沢勝信さん、山崎雅己さん、山口康雄さん、山中金治郎さん、日下君敏さん、流山源次郎さん、渡辺昭夫さん、近藤好雄さん。

館山駅周辺整備調査特別委員会委員

岩村勝弘さん、生稻 陞さん、鈴木忠夫さん、横溝 功さん、石井昌治さん、川名正二さん、辻田 実さん、松下正己さん、林 豊さん。

以上です。

◎議長（飯田義男君） 朗読を終わります。

お諮りいたします。ただいま朗読のとおり各特別委員会委員に指名いたします。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名のとおり各特別委員会委員に選任することに決しました。

ただいま選任されました各特別委員会委員の方々は、後ほどそれぞれ正副委員長の互選を行いますので、御了承願います。

閉 会 午前 11 時 12 分

◎議長（飯田義男君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第4回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

1 議案第35号乃至議案第43号

- 1 発議案第 8 号乃至発議案第 10 号
- 1 日程追加・請願第 6 号の撤回について
- 1 日程追加・発議案第 11 号
- 1 日程追加・発議案第 12 号

地方自治法第 123 条第 2 項の規定により署名する。

館山市議会議長 飯 田 義 男

館山市議会議員 岩 村 勝 弘

館山市議会議員 黒 川 平 治